

岐阜県中山間農業研究所ニュース

2014年度 第1号

本 所 〒509-4244 岐阜県飛騨市古川町是重2-6-56
TEL: 0577-73-2029 FAX: 0577-73-2751
E-mail: c24402@pref.gifu.lg.jp
中津川支所 〒509-9131 岐阜県中津川市千旦林鍛冶屋平643-1
TEL: 0573-68-2036 FAX: 0573-68-3116
E-mail: c24402@pref.gifu.lg.jp
<http://www.k-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>



今年度も全職員一丸となって、地域や産地の期待に応えられる研究機関を目指してゆきます。よろしくお願いいたします。

本号では、今年度から新たにに取り組む研究課題の中から、先取り型の研究課題であるプロジェクト研究課題、及び水稻の関係の課題についてご紹介します。

● 県独自栽培システムをベースとした夏秋トマトの生産量増大

県内園芸トップ品目のトマトについては、当研究所のエリアでは夏秋作型による栽培が盛んに行われていますが、連作や気候の温暖化に伴う病害や生理障害等により、生産が不安定な状況にあります。また、一方では資材価格の上昇等が経営を圧迫しています。このような状況を打開するため、県オリジナルの隔離栽培システム「独立袋栽培」をベースに収量を飛躍的に向上させる技術開発に今年度から着手します。



慣行土耕栽培

- ・ 独立袋栽培技術をベース
- ・ 養液管理による樹勢制御＋密植



新栽培法（予備試験中）

● おいしいと評価される飛驒「コシヒカリ」の栽培条件を明確化

本県では「コシヒカリ」をぎふ米ブランドを支える品種として位置付けています。なかでも品質・食味共に市場評価の高い飛驒産はその一端を担う重要な産地です。しかし（一財）日本穀物検定協会による食味ランキングでは上から2番目の「A」に甘んじているのが現状です。

そこで試験研究部では、良食味と評価されるためのコメの玄米成分を分析し、そのコメを生産するための栽培条件を明らかにするための研究を今年度より本格的に始めます。

これにより「飛驒のコシヒカリ」は、産地間競争に打ち勝つことができる『商品力』を備えることができます。



● 機械除草を中心とした「水稻の有機栽培」

中津川支所では、岐阜県情報技術研究所が民間農業機械メーカーとともに開発中の自立走行が可能な水田用小型除草機械を用いて、除草剤を使用しない水田雑草の防除方法について研究してきました。

昨年度は有機質肥料を用いた栽培での除草効果を確認し、今年度は殺虫剤、殺菌剤も使用しない栽培での除草効果と収量への影響等を検討する予定です。

手作業による除草が中心の水稲有機栽培からの脱却に向けて、この除草機械の実用化研究を進めていきます。



人事異動（平成26年4月1日付） よろしくお願ひします。

転入者	新所属	旧所属	転出者	新所属	旧所属
野川徳三	所長	飛驒農林事務所	越川兼行	農業技術センター	所長
牧野久智	中津川支所主査	中津商業高等学校	水野浩明	飛驒保健所下呂セ	中津川支所主査
水野文敬	本所研究員	新任	前田 健	農業技術センター	本所主任研究員
田中良憲	本所研究員	郡上農林事務所	川瀬あゆ子	岐阜農林事務所	本所研究員
五反田健司	本所農業技手	新任			
田口弘規	中津川支所農業技手	新任			